

令和５年度 学校評価シート（ホームページ掲載）

アンケート回答選択肢：よく当てはまる＝４点、 ほぼ当てはまる＝３点、
あまり当てはまらない＝１点、 当てはまらない＝０点

評価の点数について、素点平均＝４～０の評価の平均値（４点満点）
達成率＝素点平均×１００／４（100%表示）

達成率	評価
80%以上 100%以下	A
60%以上 80%未満	B
40%以上 60%未満	C
20%以上 40%未満	D
0%以上 20%未満	E

1 職員による自己評価

領域		評価の観点	実践目標	達成率	評価	R４年度	R３年度	R２年度
学 校 運 営	1	開かれた 学校づくり	学校は、「学部・学年・学級通信」や「保健だより」、「みみだより」、「進路通信」、「寄宿舎だより」などを発行することで保護者・子どもたち・関係諸機関の方々などへの適切な情報発信ができています。	87	A	84	87	83
	2		学校は日頃から育友会との連携を図り、学校の教育活動の理解を促すよう努めている。	79	B	81	80	76
	3		学校のホームページは適切で分かりやすく興味ある内容になっている。	67	B	72	73	70
	4		学校は教育相談・通級・研修会の講師派遣等、地域のセンター的機能を果たしている。	80	A	79	83	79
	5	進路指導 キャリア 教育	学校は卒業後の社会参加や自立に必要な力を身につけるため、幼児から発達段階に応じた進路学習（自立に向けた学習）を行っている。	71	B	75	77	77
	6		個別の教育支援計画は、担任と保護者の話し合いで子ども一人一人の目標に基づいてつくられている。	77	B	77	82	75
	7	教職員の 資質向上	学校は研究授業や公開授業、研修会などを計画的に実施し、指導力の向上に努めている。	77	B	77	81	70
	8		学校は聴覚障害の専門性について職員相互で高め合っている。	70	B	67	76	73
	9		学校ではＩＣＴ機器が充実し、授業や校務での活用の幅が広がっている。	66	B	60	74	76
	10		学校では人権教育研修や人権啓発資料等を通じて、教職員の人権意識を高め、教職員自ら主体的に人権感覚を養っている。	63	B	66	71	63
	11	危機管理 体制の整備	学校は子どもたちが安全に過ごせる環境をつくり、事故を防止するための適切な配慮を行っている。	76	B	77	70	67
	12		学校は危機管理意識がある。（個人情報の管理、不審者対応など）	70	B	59	64	56
	13		学校は子どもたちの問題に組織的に取り組める体制が確立している。	66	B	68	67	65
	14		感染症等予防対策について、教職員間で共通理解し、状況に応じた最善の対策をしている。	77	B	73	82	69
	15	関係諸機関 との連携	学校は医療、福祉、教育、労働等の諸機関と連携する機会を持ち、子どもたちや保護者への支援に活かしている。	75	B	75	77	75
	16	学部・学年 等の運営	学校では保・幼・小・中・高の学部間や寄宿舎との連携、校務分掌部間の連携ができています。	54	C	48	57	54
	17	校内支援	学校はいじめの未然防止を図りながら、いじめの早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合に迅速かつ適切に対応している。	78	B	78	78	77
	18		学校は子どもや保護者の学習や生活面の悩みに対して個人面談などを行い、適切な指導をしている。	77	B	77	80	79
	19		学校は補聴器・人工内耳の装用、また言語発達や就学に関する相談に対して、個に応じて適切なアドバイスができています。	79	B	78	83	81
	20		学校は子ども一人一人の進路（就学）において、情報を共有し組織的かつ適切な対応ができています。	73	B	72	74	71
	21	合理的配慮	学校では子ども一人一人の障害や特性に対して、合理的配慮が提供できている。	74	B	72	76	74
	22	校務処理	学校では勤務時間の適正化が図られている。	55	C	51	48	59
	23		学校では校務の合理化が図られている。	54	C	51	48	57

教育課程	24	個に応じた 学習指導	学校は個別の指導計画を基に、子ども一人一人の障害に配慮した教育活動を行っている。	7 5	B	7 6	7 5	7 4
	25		学校は重複障害の子どもに対して、障害の特性に応じた適切な指導を行っている。	7 1	B	6 8		
	26		学校は子どもたちが主体的に学習に取り組める場面を設定し、学びを深めるような授業を行っている。	7 4	B	7 3	7 8	7 5
	27	行事・ 教育活動	学校は子どもたちが主体となる行事や教育活動の充実に努めている。	7 3	B	7 9	8 1	6 6
課題教育	28	防災・ 安全教育	学校はより具体的な災害状況を想定した実践的な防災訓練及び定期的な防災学習を行っている。	7 5	B	7 5	7 4	7 0
	29		学校は交通事故防止などの安全教育を行っている。	6 9	B	7 3	7 3	7 4
	30	人権教育	学校は生命を大切にし、人権を尊重した教育を行っている。	7 6	B	7 6	7 9	7 4
	31	食育	学校給食を通して食生活や食事のマナーなど望ましい食習慣の指導を行っている。	7 5	B	7 5	7 9	7 7
平均値				7 2	B	7 1	7 4	7 2

2 中学部・高等部の生徒による評価

	設 問	達成率	評価
1	予習・復習などの学習習慣が身についている。	6 4	B
2	宿題や課題をきちんとやって、期日までに提出している。	7 6	B
3	授業中は、先生の話をよく聞いている（見ている）。	8 5	A
4	授業の内容は、よく理解できる。	7 6	B
5	先生の話（手話）は、よくわかる。	8 7	A
6	中間考査や期末考査の前には、計画を立てて一生懸命勉強している。	5 7	C
7	学校や学部のかまりをきちんと守って、生活している。	9 0	A
8	携帯電話やスマートフォンは、ルールを守って使っている。	9 0	A
9	交通ルールや電車・バスの中でのマナーを守っている。	9 1	A
10	掃除の時間は、まじめに取り組めている。	8 3	A
11	学校の備品や施設を大切に使っている。	9 3	A
12	自分から積極的にあいさつをしている。	8 5	A
13	先生や先輩とは敬語を使って話をしている。	6 6	B
14	いじめの問題が起きないように、相手の気持ちを考えてみんなと仲良く行動している。	9 2	A
15	日番や週番など、当番の仕事を怠けずにきちんとやっている。	8 9	A
16	部活動に熱心に取り組んでいる。	8 7	A
17	文化祭や修学旅行、校外学習などの行事に、まわりと協力して取り組んでいる。	9 4	A
18	防災の学習や、講演会（SNS、性教育など）によって、自分の生活を見直したり考え方を変えたりしたことがある。	7 5	B
19	進路の講演会で卒業生話を聞き、自分の進路を考える上で参考になった。（中学部3年～高等部3年）	8 8	A
20	悩んだり困ったりした時に、相談できる友だちや先生がいる。	8 6	A
21	勉強のことや友だちのことについて家の人と話をする	7 1	B
22	授業や学校生活の中で、感染症等防止対策（マスク着用、消毒、換気等）がきちんとできている。	8 2	A
23	この学校に入学して良かったと思っている。	8 2	A
	平均値	8 2	A

3 保護者による評価

	設 問	達成率	評価
1	お子様は学校に楽しく通えている。	8 5	A
2	学校は学校・学部・学年の目標や方針がわかるように提示している。	8 4	A
3	学校は配付物やマチコミ、ホームページなどで適切に情報発信をしている。	8 9	A
4	授業・保育は楽しくよくわかるように工夫されている。	8 4	A
5	学校はお子様の成長の様子や課題などをわかりやすく伝えている。	8 6	A
6	学校は学んだことを家庭で取り組めるような指導ができています。	9 0	A
7	お子様は学校生活の様子を家庭でよく話題にする。	7 8	B
8	宿題はお子様にとって適切な量である。（小・中・高）	7 9	B
9	お子様は家庭でよく勉強している。（小・中・高）	3 8	D
10	学校は部活動などの課外活動に積極的に取り組んでいる。（小・中・高）	7 9	B
11	学校は挨拶やルールを守る指導をしている。	8 8	A
12	学校は本人や保護者の願いや思いをきちんと受け止めている。	8 7	A
13	学校は防災や不審者侵入などの安全対策を実施している。	8 1	A
14	学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる。	8 7	A
15	お子様は学校行事を楽しみにしている。（または、「親子とも楽しめる保育や行事を企画・運営している。」）	9 0	A
16	学校は進路(進級を含む)に関する情報提供を適切に行っている。	8 2	A
17	学校は家庭・地域・医療との連携・協力が図れている。	8 3	A
18	学校は感染症等防止対策を適切に行い、安心安全な学校づくりに取り組んでいる。	8 3	A
19	お子様を本校に入学させて良かったと思う。	8 9	A
平均値		8 2	A

4 学校評議員による評価

	設 問	達成率	評価	成果・課題・改善策
1	本校の教育は保護者や地域の期待に応えている。	8 9	A	・ 幼児児童生徒一人一人に対してきめ細かな教育活動を展開し、その取組意識の高さは評価できる。 ・ 職場体験実習において、生徒一人一人の特性に応じて実習先が的確に選定されている。また、進路相談会で支援機関や市担当者も同席し、卒業後における関係機関との連携を視野に入れた支援が実践されている。 ・ 幼児児童生徒は楽しく学校生活を送っているが、中学部・高等部生徒がもっと家庭学習に取り組めるように保護者の理解と協力を得ながら取組を進める。 ・ 職場体験をはじめ学校と地域が連携して取り組める活動を企画し、子供たちが地域の中で元気に成長していける機会をつくる。 ・ 勤務時間の適正化、校務の合理化、校務分掌間の連携の評価が低く、改善が進んでいない。できるところから本気で取組を進めていくことが必要である。
2	本校では、聴覚特別支援学校としての専門性が十分に発揮されている。	8 9	A	
3	本校は「生きる力」を育む教育の推進を行っている。	8 6	A	
4	本校では、幼児児童生徒の健康や安全に対する指導が適切に行われている。	8 3	A	
5	本校では、重複障害の幼児児童生徒に対して、障害の特性に応じた適切な指導が行われている。	8 6	A	
6	本校の学習環境は、教育活動を進める上で十分に整備されている。	8 6	A	
	平均値	8 7	A	